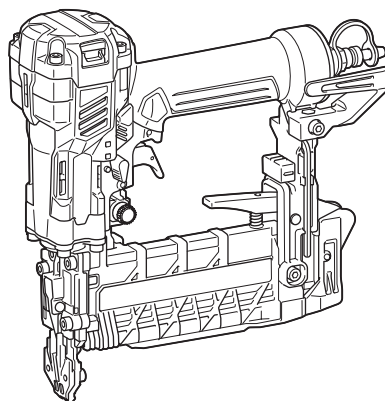




取扱説明書

高圧フロアタッカ

モデル AT451H



このたびは高圧フロアタッカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	8
・ 別販売品のご紹介	9
・ 使い方	11
・ 安全装置の確認	11
・ トリガロックの操作方法	12
・ コンプレッサの選定について	12
・ エアホースの選定について	13
・ コンプレッサ、エアホースの保管・点検	13
・ ステープルの装てん	14
・ 空打ち防止機構について	15
・ 単発・連続打ちの切替機構（自動切替構造となっています。）	15
・ アジャスタ（打ち込み深さ調整）の操作方法	16
・ フックの使い方	17
・ エアホースの接続	17
・ ノーズアダプタの使い方	18
・ ノーズアダプタの取り付け方法	18
・ エアダスタの使い方	19
・ フローリング作業	20
・ ステープル詰まりの直し方	21
・ 保守・点検について	22
・ 作業後の保管	22
・ 本製品の清掃	23
・ 純正オイルの使用	23
・ 本製品のお手入れ	23
・ ご修理の際は	23
・ 高圧フロアタッカ 保証書	28

主要機能

モデル	AT451H
主要機能	
使用空気圧力	1.18 ~ 2.26 MPa (12 ~ 23 kgf/cm ²)
使用ステープル	MA 線 幅 4mm × 長さ 25 ~ 50mm
ステープル装てん数	1 連 84 本 / 79 本 最大 103 本
質量	1.5 kg
本製品寸法	長さ 256 mm × 幅 72 mm × 高さ 256 mm
使用エアホース	マキタ高圧エアホース 内径 4.0 mm 以上

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証について

- ・ 本製品には巻末に保証書がついております。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- ・ 本製品は、保証書の記載内容に基づき無償保証いたします。故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に製品と保証書をお持ち込みください。
- ・ 保証期間中の修理は無償修理規定に基づきます。詳細は保証書をご覧ください。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本製品の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本製品を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステープル打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じのステープルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ ステープルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステープル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本製品に刻印や溶接などの改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は銘板に記載の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
10. 必ず射出口を確実に材料に当ててトリガを引いてください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
11. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 本製品はトリガを引くだけでステープルが発射されます。誤って発射した場合に事故の原因になります。

⚠ 警告

12. 次の場合は、本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - ステーブルを装填する場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本製品を持って移動する場合。
 - 点検整備をする場合。
 - その他事故が予想される場合。

13. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。

- ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。

14. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。

- ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。

15. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。

- ・ 打ち損じのステーブルなどがあたりけがをする原因となります。

16. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。

- ・ ステーブルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。

17. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。

- ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。

18. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

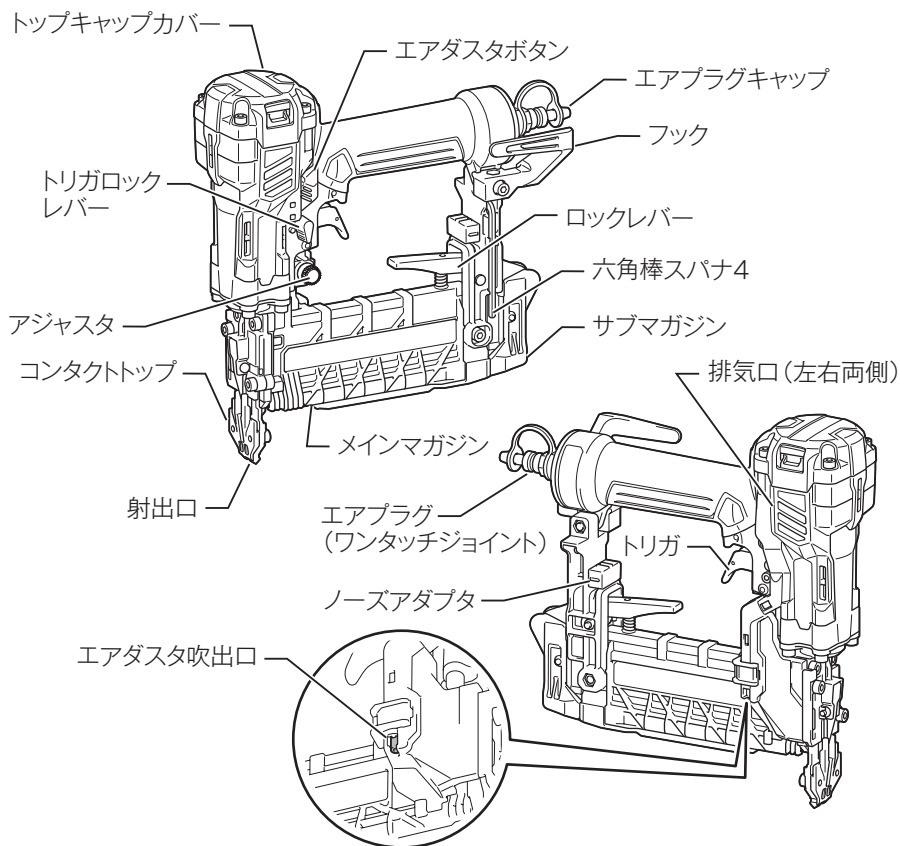
19. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用了本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本製品を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業中は、本製品に顔などを近づけないでください。
 - ・ ステーブルの上や木の節などに当たった場合、本製品が大きく反動し、けがをする原因になります。
5. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
6. 作業中に本製品の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
7. 本製品およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
8. 本製品の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
9. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品

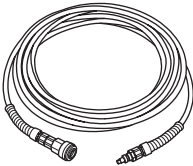


標準付属品

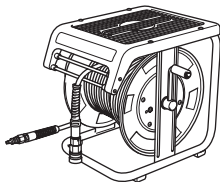
- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 油さし (タービン油 VG32)
- ・ ノーズアダプタ (平打用)
- ・ 六角棒スパナ 4 (本製品取付)
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 高圧スリックホース（外径 10mm × 内径 6mm）
10m 巻 部品番号：A-46280
15m 巻 部品番号：A-56552
20m 巻 部品番号：A-46296
30m 巻 部品番号：A-46305
- ・ 高圧スリックスリムホース（外径 8mm × 内径 4mm）
10m 巻 部品番号：A-51736
15m 巻 部品番号：A-51742
20m 巻 部品番号：A-51758
- ・ 高圧用エアホース（外径 9mm × 内径 5.3mm）
20m 巻 部品番号：A-41654
30m 巻 部品番号：A-41660



- ・ 高圧タフリール（本体のみ）
部品番号：A-49242
- ・ 高圧タフリール 30M
部品番号：A-49220

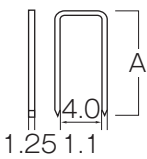


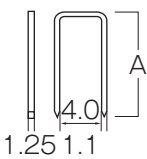
- ・ スプレーオイル
部品番号：A-46121



別販売品のご紹介

・ MA 線フローリングステープル

種類	ステープル (幅 4mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	25	32	38	45	50
部品番号	F-81547	F-81550	F-81563	F-81576	F-81589
型式	425MAF	432MAF	438MAF	445MAF	450MAF
連結本数 (本)	84				
1 ケース入数 (本)	3,024				

種類	ステープル (幅 4mm)			
材質	鉄			
形状				
A (長さ mm)	25	28	32	38
部品番号	F-81068	F-81071	F-81084	F-81097
型式	425MA	428MA	432MA	438MA
連結本数 (本)	79			
1 ケース入数 (本)	5,056			

使い方

安全装置の確認

⚠ 警告

安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。

- ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると事故の原因になります。

射出口やエアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を射出口やエアダスタ吹出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

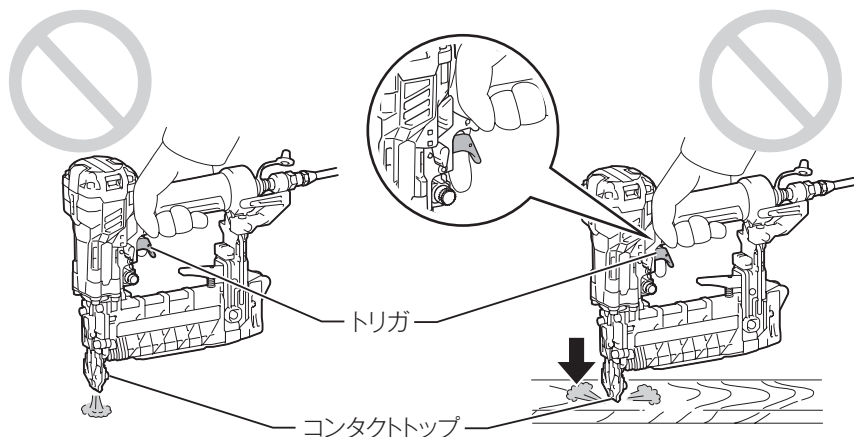
⚠ 注意

射出口を確実に材料に当ててください。

- ・ 確実に当てていないと、ステープルがはね返り、事故の原因になります。

- ・ ステープルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

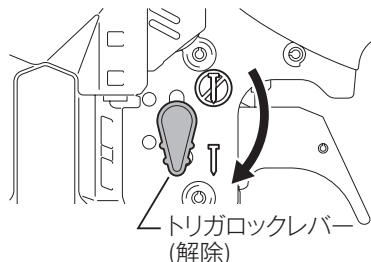
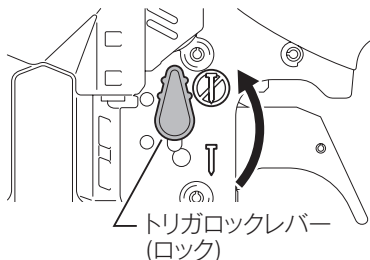
1. 作業に入る前に本製品にステープルが装てんされていないことを確認してください。
2. 本製品にエアホースを接続します。
3. まずトリガだけを引いてください。次にトリガから指を放し、コンタクトトップを材料に押し当ててください。
4. 上記 3 の操作で本製品が作動する場合は、安全装置が異常です。



使い方

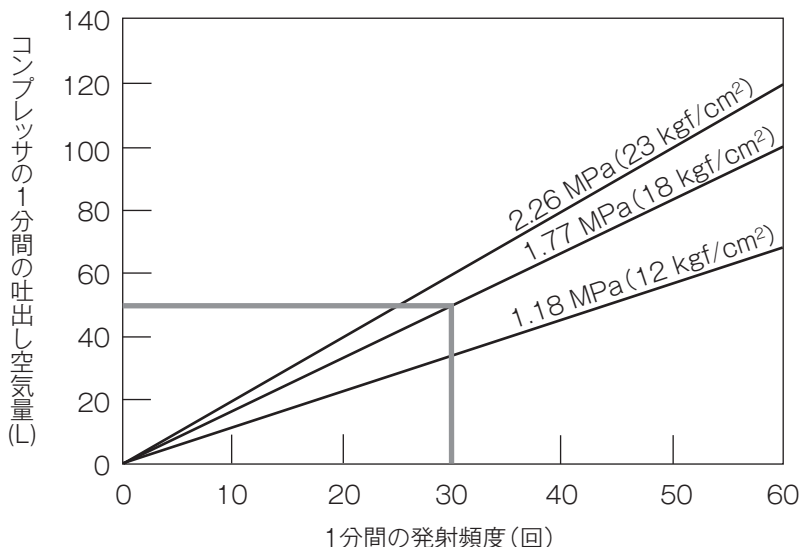
トリガロックの操作方法

- ・ 本製品にはステープル打ち作業をしていないとき、誤った操作による事故を防ぐために、トリガロック機構を装備しています。トリガロックとは、トリガをロックし、発射しない状態にする機構です。
- ・ トリガロックレバーを  の位置にすると、トリガが固定されます。
- ・ ステープルを打つときは、トリガロックレバーを  の位置にしてください。作業時以外はトリガをロックして、エアホースをはずしてください。



コンプレッサの選定について

- ・ 本製品を能率よく使用するために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される場合は図を参考にしてください。
- ・ 図は本製品での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し空気量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 1.77 MPa (18 kgf/cm²) で発射頻度が1分間に約30回ですと、吐出し空気量 50 L/min 以上のコンプレッサが必要です。



使い方

エアホースの選定について

⚠ 警告

エアホースをつなぐとき、抜くときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
- ・ 次にエアホースをつないだとき、誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 高圧用エアホースを使用してください。
- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短いものを使用してください。
※エアホースの内径が 4 mm の場合は 20 m 以下の長さに、内径が 4 mm を超える場合は 30 m 以下の長さを目安に選定してください。

注

- ・ ステーブルの発射頻度に比べ、エアコンプレッサの吐出し空気量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

コンプレッサ、エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクの水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本製品の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱 (60 ℃以上)、薬品 (シンナー、強酸、強アルカリなど) および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

使い方

ステープルの装てん

⚠ 警告

ステープルを装てんする場合は、必ずトリガをロックし、本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。

不要な空打ちは絶対に行わないでください。

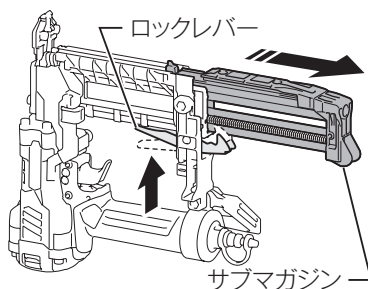
- ・ サブマガジンを引き出すと空打ち防止機構が無効になります。不要な空打ちは、ガイドやドライバ先端の摩耗や損傷、およびその他の各部に悪影響をあたえますので絶対に行わないでください。

⚠ 注意

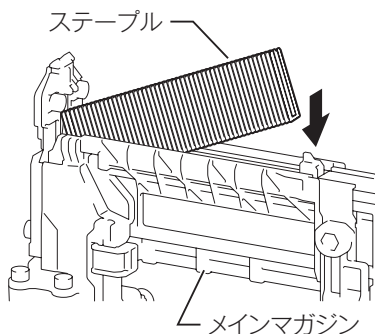
ステープルを装てんした状態でサブマガジンを不用意に開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステープルが落下すると事故の原因になります。

1. ロックレバーを押してサブマガジンをスライドさせます。



2. ステープルの足を上にして、メインマガジンに入れます。
3. サブマガジンを元に戻し、ロックレバーでロックします。



注

- ・ 指定以外のステープルを使用しないでください。ステープルの変形したものやステープルの連結が変形したものは使用しないでください。マガジン内に異なるサイズのステープルを同時に装てんしないでください。
 - ・ ステープル詰まり、故障の原因になります。

使い方

空打ち防止機構について

本製品には空打ち防止機構が装備されています。
マガジン内のステープルが無くなると空打ち防止機構が作動して、トリガを引いても打てなくなります。
続けてお使いになる場合はステープルを補充してください。

注

- ・ サブマガジンを引き出すと空打ち防止機構が無効になります。
 - ・ 不要な空打ちは、ガイドやドライバ先端の摩耗や損傷、およびその他の各部に悪影響をあたえますので絶対に行わないでください。

単発・連続打ちの切替機構（自動切替構造となっています。）

⚠ 警告

安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。

- ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。

射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

空打ちを絶対に行わないでください。

- ・ 空打ちを行うと、機械の破損や思いがけない事故につながる場合がありますので、絶対に行わないでください。

⚠ 注意

射出口を確実に材料に当ててください。

- ・ 確実に当てていないと、ステープルがはね返り、事故の原因になります。

「単発打ち」方法

- ・ 主に仕上げを重視する場合や狙った所に打つ場合に適しています。
 - ・ 単発打ちでは、打ち込み対象物にコンタクトトップを押し当て、トリガを引く操作でステープルを1本ずつ打つことができます。
1. トリガロックレバーを⇐の位置にしてトリガロックを解除します。
 2. 打ち込み対象物にコンタクトトップを押し当てます。
 3. トリガを引きます。

注

- ・ コンタクトトップを押しつけたままの引きずり打作業は、空打防止機能が作動しないため、行わないでください。

使い方

「連続打ち」方法

- ・ 主に床、壁、屋根などの下地打ちの場合に適しています。
 - ・ 連続打ちでは、トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトトップを押し当てる操作を繰り返すことで、連続的にステーブルを打つことができます。
1. トリガロックレバーを⇐の位置にしてトリガロックを解除します。
 2. トリガを引きます。
 3. トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトトップを押し当てれば、連続打ちができます。

注

- ・ 単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトトップを打ち込み対象物に押し当ててもステーブルは発射されません。
- ・ 続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったん放してから連続打ちの操作を行ってください。

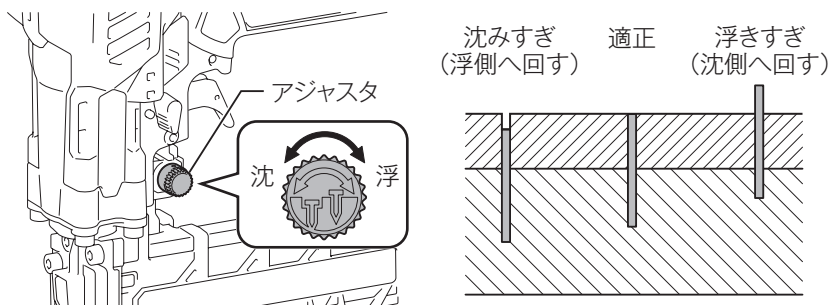
アジャスタ（打ち込み深さ調整）の操作方法

⚠ 警告

打ち込み深さ調整の際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 本製品はステーブルの打ち込み深さを調整するアジャスタ機構を装備しています。
- ・ アジャスタを回転させて、打ち込み深さを調整してください。
- ・ 打ち込み調整幅は4.0 mm です。(1 回転で約 1.6 mm の調整ができます。)



- ・ 一般的に使用空気圧を低くして、調整目盛を「 沈側で使用した方が本製品は長持ちします。

使い方

フックの使い方

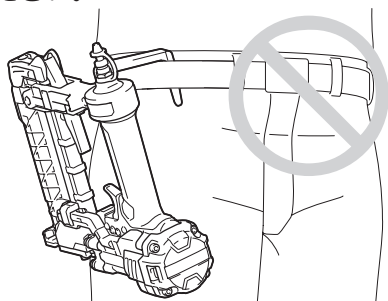
⚠ 警告

フックの位置を変える場合や、フックご使用の際は必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

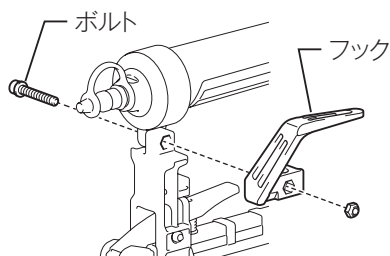
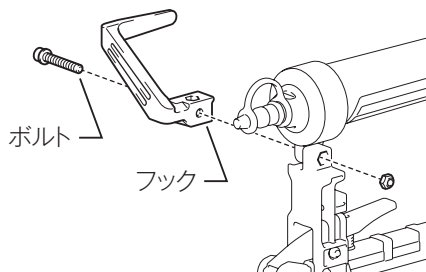
フックを取り付ける際は、ボルトをしっかり締めてください。

フックを腰のベルトなどにはけないでください。

- ・ フックがはずれて本製品が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。



- ・ フックは本製品を一時引っかけておくのに便利です。
 - ・ フックは左右どちらにも取り付けができます。
- 位置を変えるときは、付属の六角棒スパナ 4 でボルトをはずし、フックの取り付け位置を変え、ボルトでしっかり取り付けてください。

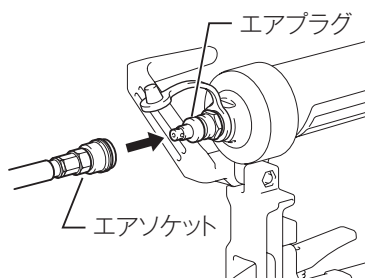


エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本製品のエアプラグにエアホースのエアソケットをしっかり挿し込んでください。

注

- ・ エアソケットをエアプラグにしっかり挿し込んでいないと、不意にはずれて事故の原因になります。



使い方

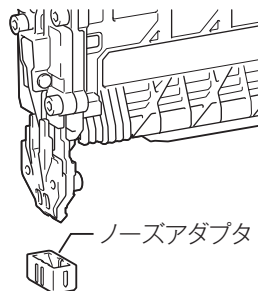
ノーズアダプタの使い方

⚠ 警告

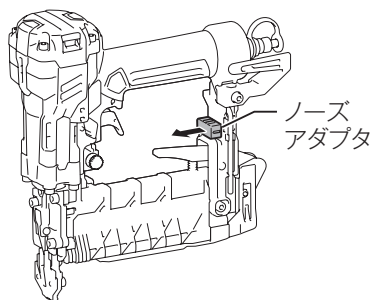
ノーズアダプタ着脱の際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 平打ち作業をする場合、コンタクトトップの先端部にノーズアダプタを取り付けてください。



- ・ ノーズアダプタ収納部からノーズアダプタを取りはずす場合は、持ち上げるようにはずしてください。

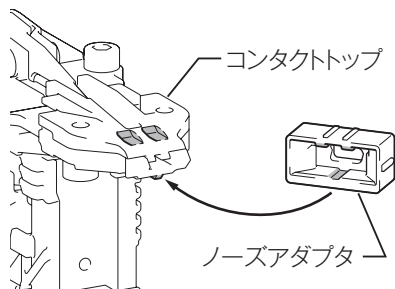


注

- ・ ノーズアダプタを使用しないときは、ノーズアダプタ収納部にしっかり押し込み、固定してください。

ノーズアダプタの取り付け方法

- ・ ノーズアダプタを図の向きにして、ノーズアダプタの凸部がコンタクトトップの凹部に合うようにしっかり押し込みます。



使い方

エアダスタの使い方

⚠ 警告

エアダスタを使用するときは必ずトリガをロックしてください。

エアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を吹出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って吹き出した場合、事故の原因になります。

近くに人がいないことを確認してから使用してください。

- ・ 吹き飛ばしたホコリや木屑などが当たり、けがをする原因になります。

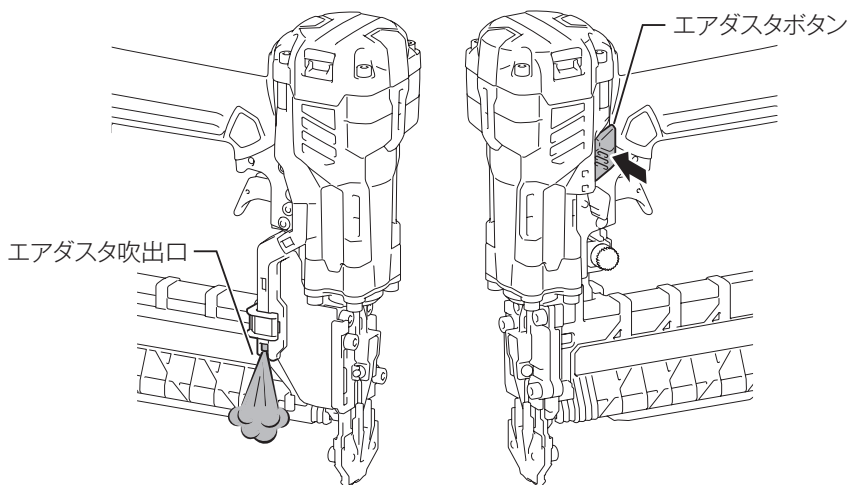
エアダスタボタンを押したまま、エアホースをつないだり、はずしたりしないでください。

エアダスタを使用すると一時的に打ち込み力が低下する場合があります。

エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。

注油直後にエアダスタを使用すると、オイルがエアダスタ吹出口より霧状に飛び散る場合があります。油がかかっても支障のない所で試してから作業してください。

- ・ エアダスタを使用すれば、ホコリや木屑を吹き飛ばすことができます。



使い方

フローリング作業

⚠ 警告

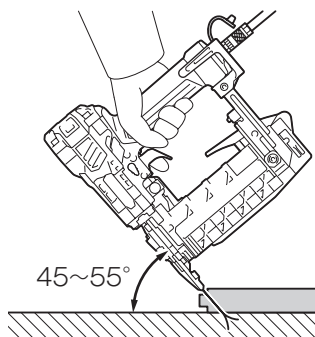
空打ちを絶対に行わないでください。

- ・ 空打ちを行うと、機械の破損や思いがけない事故につながる場合がありますので、絶対に行わないでください。

本製品を寝かしすぎるとフロア材の表面に膨らみが、また立てすぎると実（さね）の壊れが発生しやすくなります。

本角度にて施工をしても諸条件により、膨らみや実（さね）の壊れが発生する場合がありますので、試し打ちをして確認の上、ご使用ください。

- ・ 狙った所にステープルを打つフローリング作業の場合は、単発打ちで作業してください。（15 ページの「単発・連続打ちの切替機構」参照）
- ・ 本製品の角度を図のように $45 \sim 55^\circ$ に傾けて打ち込むようにしてください。



使い方

ステープル詰まりの直し方

⚠ 警告

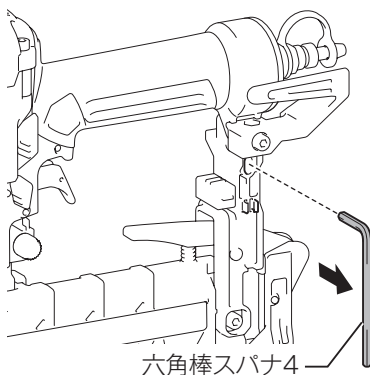
ステープル詰まりを直す際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

1. ロックレバーを押してサブマガジンをスライドさせます。
2. 射出口が露出しますので、詰まったステープルを取り除きます。

上記 1、2 の操作でも詰まったステープルを取り除けない場合

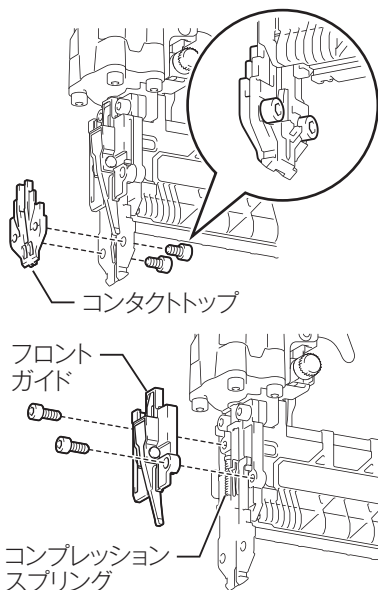
3. マガジンカバー内の六角棒スパナ 4 収納部から六角棒スパナ 4 を取りはずします。



4. コンタクトトップの裏側にある 2 本のボルトを六角棒スパナ 4 で取りはずし、詰まったステープルを取り除きます。

上記 4 の操作でも詰まったステープルが取り除けない場合

5. フロントガイドを固定している 2 本のボルトを六角棒スパナ 4 で取りはずします。
6. ステープルの案内溝が露出するので、詰まったステープルを取り除いてください。



注

- ・ コンプレッションスプリングの紛失に注意してください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際は、必ず本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

本製品を落とす、ぶつける、たたくなどをしないでください。

強い衝撃を与えた場合は、本製品に破損や亀裂がないか、また安全装置が正常に作動するかを確認してから使用してください。

- ・ 本製品内部には圧縮空気が充てんされており、破裂や事故の原因になります。

次の場合は、トリガをロックしエアホースを本製品からはずしてください。

- ・ 本製品を使用しない場合。
- ・ コンタクトトップを交換する場合。(コンタクトトップ交換可能モデル)

⚠ 注意

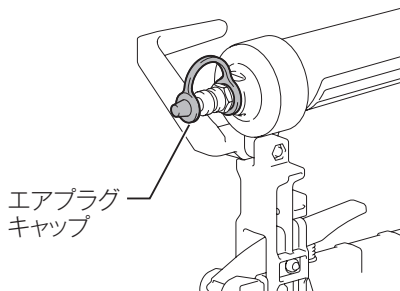
使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないか、エア漏れがないかを点検してください。

- ・ 不完全な本製品を使用すると、事故の原因になります。

作業後の保管

- ・ 本製品内にゴミやホコリなどが入ると故障の原因になります。

使用しないときにはトリガをロックし、エアホースをはずしエアプラグにエアプラグキャップをしてください。



- ・ 長時間使用しないときは防錆のため、しゅう動部にマシン油などを塗布し、プラスチックケースに収納してください。
- ・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。

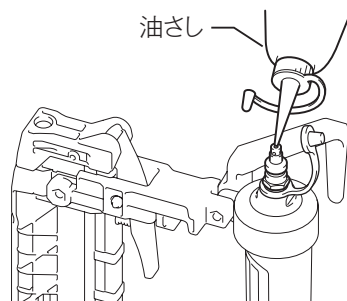
保守・点検について

本製品の清掃

- ・ 本製品が、ホコリ・木屑・砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

純正オイルの使用

- ・ オイルは当社純正オイルを必ず使用してください。作業終了後、本製品に付属している油さし（タービン油 VG32）で 2 ～ 3 滴エアプラグより注油してください。
- ・ 指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881E25B1

IWT